

「高校教育に関する県民意識調査」について

1 調査の趣旨

平成23年度以降の県立高等学校の在り方等に関する県民意識の把握、分析等を通じ、新たな県立高校将来構想策定に向けた検討資料の一つとするため実施したもの。なお、今回の調査では、現状を踏まえた上で次期構想策定の参考にしようとするため、現行の県立高校将来構想（平成13年3月策定）における高校改革の取組に対する評価項目も設定した。

2 調査対象

(1) 中学2年生	1,518人（公立中学校54校の原則2年1組の生徒30人を対象）
(2) 高校2年生	1,645人（全県立高校の原則2年1組の生徒20人を対象）
(3) 中学2年生の保護者	1,518人（(1)で対象とした生徒の保護者）
(4) 高校2年生の保護者	1,645人（(2)で対象とした生徒の保護者）
(5) 県民	3,000人（各広域圏均等割り、男女半々で選挙人名簿から無作為抽出）
(6) 中学校進路指導教員	217人（分校を除く全公立中学校の進路指導主事）
(7) 合計	9,543人

3 実施期間

- (1) 調査票発送 11月4日（火）
 (2) 調査票回答〆切 11月18日（火） ※消印有効

4 回収率

(1) 中学2年生	1,423人（回収率：93.7%）
(2) 高校2年生	1,537人（回収率：93.4%）
(3) 中学2年生の保護者	1,231人（回収率：87.0%）
(4) 高校2年生の保護者	1,312人（回収率：79.8%）
(5) 県民	901人（回収率：30.0%）
(6) 中学校進路指導教員	192人（回収率：88.5%）
(7) 合計	6,686人（回収率：70.1%）

5 調査結果

資料2のとおり